

経営比較分析表（令和6年度決算）

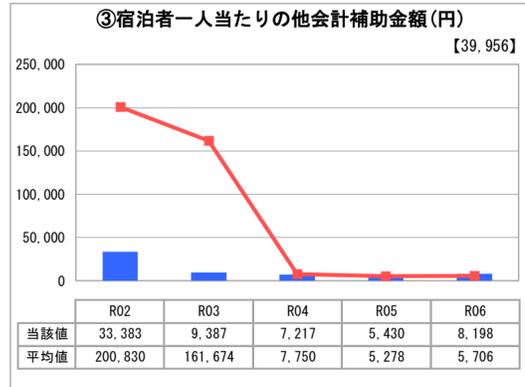
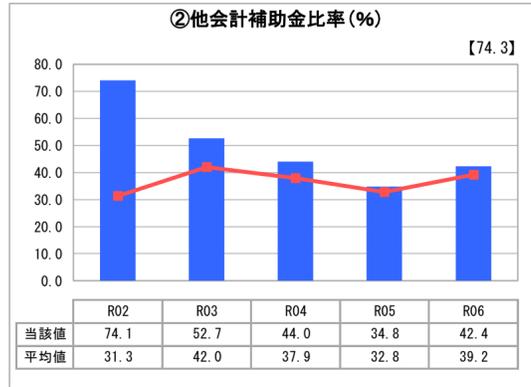
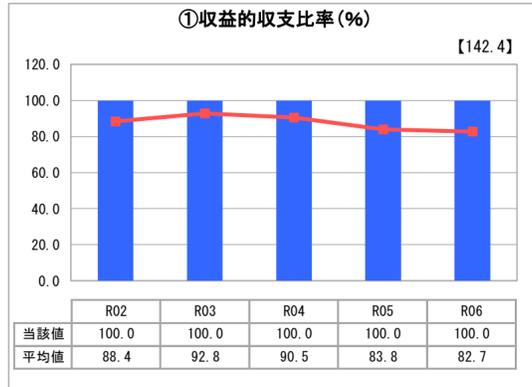
兵庫県佐用町 笹ヶ丘荘

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A1B1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	建物延面積(m ²)	宿泊定員数(人)	
該当数値なし	該当数値なし	957	55	

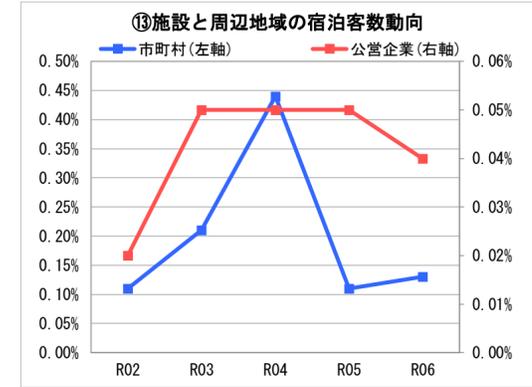
客単価(円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合(%)
6,304	無	0.0
バリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率(%)	Wi-Fi設置
有	100.0	有

グラフ凡例
■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



分析欄

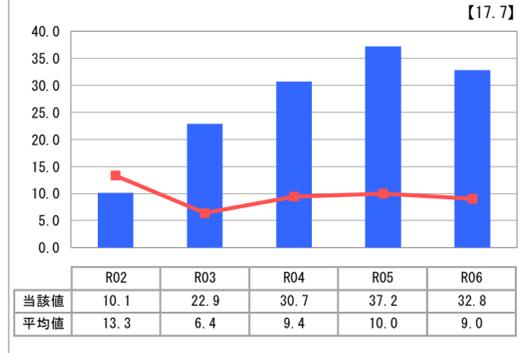
1. 収益等の状況について
 本施設では、①②③④⑤⑥で類似施設平均値を上回り、⑦で下回っている。高い人件費率や施設の老朽化による修繕費用の増加があるものの、高い稼働率による売上の確保、新型コロナウイルス感染症の影響が弱まったことにより営業収益も回復傾向にある。今後は更に人員の適正配置を図るとともに、新たな顧客の発掘、宿泊料金及び食事料金の見直し等による収益増加に向け取り組みたい。本施設は建築から53年、大規模改修から33年が経過しており、毎年修繕費及び設備の更新費が発生していることも収益率改善の障害となっている。

2. 資産等の状況について
 本施設は施設の老朽化に伴い、修繕費、更新費ともに増加の傾向となっている。修繕方法や更新物品の選定などを慎重に検討し、コスト削減に努力していく。

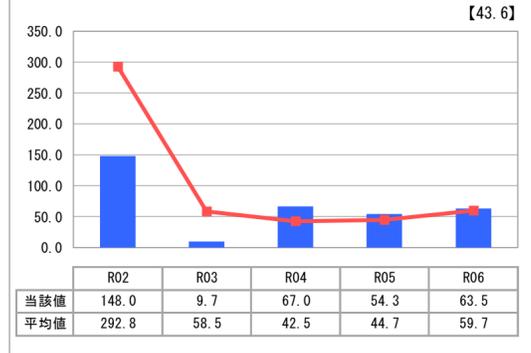
3. 利用の状況について
 本施設はゴルフ場のホテルと並び、本町の基幹となる宿泊施設である。令和6年度については、収入、利用者数とも前年度と比較して低かったものの、改善傾向にある。これは、新型コロナウイルス感染症の影響から回復傾向にあるものと考えられる。

全体総括
 本施設の課題は、老朽化による維持管理経費の削減にあると言える。また、人件費の増加や物価高騰による営業費用の増加の影響もあげられる。修繕及び更新については計画的に実施し、コスト削減を図り、宿泊料金及び食事料金の見直し、新たな顧客の発掘等による収益増加に向け取り組みたい。

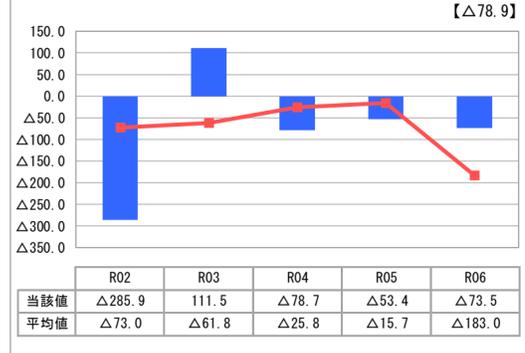
④定員稼働率(%)



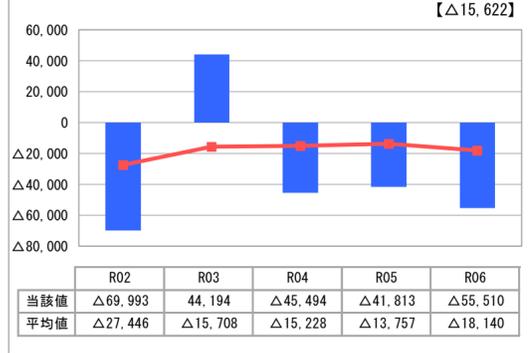
⑤売上高人件費比率(%)



⑥売上高GOP比率(%)



⑦EBITDA(千円)



2. 資産等の状況

⑧有形固定資産減価償却率(%)

該当数値なし

年次	R02	R03	R04	R05	R06
当該値					
平均値					

⑨施設の資産価値(千円)

23,945

⑩設備投資見込額(千円)

363,743

⑪累積欠損金比率(%)

該当数値なし

年次	R02	R03	R04	R05	R06
当該値					
平均値					

⑫企業債残高対料金収入比率(%)

